

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月12日

上場取引所 東大

上場会社名 株式会社 T&Dホールディングス
 コード番号 8795 URL <http://www.td-holdings.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月12日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 宮戸 直輝
 (氏名) 坂井 啓三

TEL 03-3434-9151

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	577,156	△14.6	24,872	△20.0	10,837	19.1
21年3月期第1四半期	675,657	—	31,079	—	9,099	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
22年3月期第1四半期	39.59	—
21年3月期第1四半期	36.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
22年3月期第1四半期	12,589,632	431,707	3.4	1,570.69
21年3月期	12,498,562	296,393	2.4	1,076.35

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 429,980百万円 21年3月期 294,656百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
21年3月期	—	—	—	45.00	45.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	45.00	45.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期 連結累計期間	980,000	△22.8	36,000	4.7	6,000	62.3	21.92
通期	2,010,000	△20.9	78,000	—	18,000	—	65.75

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	273,930,000株	21年3月期	273,930,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	177,254株	21年3月期	175,434株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	273,753,405株	21年3月期第1四半期	246,229,732株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

実際の業績は、今後様々な要因によって、上記業績予想と大きく異なることがあります。連結業績予想についての詳細は、7頁の「4. 連結業績予想に関する定性的情報」に記載しておりますのでご参照願います。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

経常収益は、保険料等収入4,299億円（前年同期比8.9%増）、資産運用収益1,236億円（同6.3%減）、その他経常収益235億円（同84.2%減）等を合計した結果、前第1四半期に比べ985億円減少し、5,771億円（同14.6%減）となりました。

一方、経常費用は、保険金等支払金4,363億円（同15.2%減）、資産運用費用415億円（同23.2%減）、事業費518億円（同1.2%減）、その他経常費用220億円（同3.8%減）等を合計した結果、前第1四半期に比べ922億円減少し、5,522億円（同14.3%減）となりました。

経常収益から経常費用を差し引いた経常利益は、前第1四半期に比べ62億円減少し、248億円（同20.0%減）となりました。経常利益が減少したのは主に、昨年ほどの有価証券売却損益（ネット）や利息及び配当金等収入を計上しなかったことによります。

特別利益は4億円（同36.9%減）、特別損失は37億円（同89.5%増）となりました。特別損失は主に、価格変動準備金繰入額35億円（同102.6%増）であります。

経常利益に特別利益、特別損失、契約者配当準備金繰入額、法人税及び住民税等、法人税等調整額等を加減した四半期純利益は、前第1四半期に比べ17億円増加し、108億円（同19.1%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期末の総資産は12兆5,896億円（前連結会計年度末比0.7%増）となりました。

主な資産構成は、公社債を中心とする有価証券8兆6,050億円（同4.7%増）、貸付金2兆2,731億円（同0.3%減）、買入金銭債権3,470億円（同21.7%減）、有形固定資産3,063億円（同0.7%減）、コールローン2,896億円（同27.1%減）、現金及び預貯金2,685億円（同16.0%減）であります。

負債合計は12兆1,579億円（同0.4%減）となりました。その大部分を占める保険契約準備金は11兆6,890億円（同0.1%減）となっております。

純資産合計は4,317億円（同45.7%増）となりました。純資産の部中、その他有価証券評価差額金は505億円（前連結会計年度末は△862億円）となっております。

(2) キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは主に、保険料等収入が増加するとともに保険金等支払金が減少したことにより、前第1四半期に比べ、1,506億円支出減の、121億円の支出となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは主に、有価証券の売却・償還による収入が取得による支出を上回ったことおよび金銭の信託の減少等により、前第1四半期に比べ、752億円収入減の、773億円の収入となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前第1四半期に比べ4億円支出増の、106億円の支出となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の四半期末残高は、期首から544億円増加し、1兆3,746億円となりました。

3. 生命保険会社3社（単体）に関する事項

(1) 経営成績に関する定性的情報

■太陽生命保険株式会社

経常収益は、保険料等収入 1,893 億円（前年同期比 9.9%増）、資産運用収益 477 億円（同 5.5%減）、その他経常収益 541 億円（同 11.0%減）を合計した結果、前第 1 四半期に比べ 75 億円増加し、2,911 億円（同 2.7%増）となりました。

一方、経常費用は、保険金等支払金 2,308 億円（同 4.7%増）、資産運用費用 137 億円（同 25.9%減）、事業費 207 億円（同 5.3%増）等を合計した結果、前第 1 四半期に比べ 51 億円増加し、2,775 億円（同 1.9%増）となりました。

この結果、経常利益は、前第 1 四半期に比べ 24 億円増加し、135 億円（同 21.6%増）となりました。経常利益が増加したのは主に、昨年ほどの有価証券売却損益（ネット）や有価証券評価損を計上しなかったことによります。

四半期純利益は、前第 1 四半期に比べ 19 億円増加し、58 億円（同 49.8%増）となりました。

なお、基礎利益（生命保険本業の期間収益を示す指標の一つ）は、逆ざや68億円（同7.2%減）を埋め合わせたうえで、82億円（同13.6%減）となりました。

■大同生命保険株式会社

経常収益は、保険料等収入1,861億円（前年同期比8.4%減）、資産運用収益298億円（同52.4%減）、その他経常収益279億円（同70.5%減）を合計した結果、前第 1 四半期に比べ1,165億円減少し、2,438億円（同32.3%減）となりました。

一方、経常費用は、保険金等支払金1,883億円（同31.2%減）、資産運用費用120億円（同60.6%減）、事業費269億円（同7.8%減）等を合計した結果、前第 1 四半期に比べ1,050億円減少し、2,332億円（同31.1%減）となりました。

この結果、経常利益は、前第 1 四半期に比べ114億円減少し、106億円（同51.8%減）となりました。経常利益が減少したのは主に、有価証券評価損や金融派生商品費用等の資産運用費用が減少した一方で、利息及び配当金等収入や売買目的有価証券運用益等の資産運用収益が減少したことによります。

四半期純利益は、前第 1 四半期に比べ20億円減少し、48億円（同30.0%減）となりました。

なお、基礎利益は、逆ざや108億円（同498.9%増）を埋め合わせたうえで、140億円（同38.6%減）となりました。

■T&Dフィナンシャル生命保険株式会社

経常収益は、保険料等収入544億円（前年同期比179.4%増）、資産運用収益470億円（同140.9%増）、その他経常収益22億円（同19.8%減）を合計した結果、前第 1 四半期に比べ619億円増加し、1,037億円（同148.1%増）となりました。

一方、経常費用は、保険金等支払金170億円（同17.1%減）、責任準備金等繰入額663億円（同324.6%増）、資産運用費用153億円（同214.9%増）、事業費35億円（同22.0%増）等を合計した結果、前第 1 四半期に比べ583億円増加し、1,029億円（同131.0%増）となりました。

この結果、経常利益は前第 1 四半期に比べ35億円増加し、8億円（前第 1 四半期は27億円の経常損失）となりました。

四半期純利益は前第1四半期に比べ24億円増加し、5億円（前第1四半期は19億円の四半期純損失）となりました。

なお、基礎利益は156億円（同554.5%増）となりました。また、逆ざやは9億円（同5.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

■太陽生命保険株式会社

当第1四半期末の総資産は5兆7,377億円（前事業年度末比0.6%減）となりました。

主な資産構成は、公社債を中心とする有価証券3兆6,993億円（同0.6%増）、貸付金1兆4,859億円（同0.5%減）、有形固定資産1,614億円（同0.6%減）、買入金銭債権1,429億円（同1.7%減）であります。

負債の部合計は5兆5,597億円（同1.2%減）となりました。その大部分を占める保険契約準備金は5兆4,294億円（同0.9%減）となっております。

純資産の部合計は1,779億円（同22.1%増）となりました。純資産の部中、その他有価証券評価差額金は334億円（同3,545.0%増）となっております。

保険会社の健全性を示す行政監督上の指標のうち、ソルベンシー・マージン比率は931.7%（前事業年度末は866.4%）となりました。また、実質純資産（時価ベースの実質的な資産から資本性のない実質的な負債を差引いた額）は3,814億円（前事業年度末は3,304億円）となりました。

■大同生命保険株式会社

当第1四半期末の総資産は5兆5,187億円（前事業年度末比0.9%増）となりました。

主な資産構成は、公社債を中心とする有価証券3兆7,980億円（同7.9%増）、貸付金8,013億円（同0.0%減）、コールローン2,347億円（同14.6%減）、買入金銭債権2,040億円（同31.5%減）、有形固定資産1,397億円（同0.7%減）、現金及び預貯金1,293億円（同39.6%減）であります。

負債の部合計は5兆2,376億円（同0.9%減）となりました。その大部分を占める保険契約準備金は5兆787億円（同0.6%減）となっております。

純資産の部合計は2,810億円（同51.2%増）となりました。純資産の部中、その他有価証券評価差額金は104億円（前事業年度末は△860億円）となっております。

ソルベンシー・マージン比率は972.4%（前事業年度末は820.7%）となりました。また、実質純資産は5,398億円（前事業年度末は4,462億円）となりました。

■T&Dフィナンシャル生命保険株式会社

当第1四半期末の総資産は1兆2,385億円（前事業年度末比5.8%増）となりました。

主な資産構成は、有価証券1兆1,106億円（同8.4%増）、金銭の信託518億円（同19.8%減）、現金及び預貯金217億円（同14.1%増）、コールローン150億円（同37.5%減）であります。

負債の部合計は1兆1,906億円（同5.9%増）となりました。その大部分を占める保険契約準備金は1兆1,793億円（同6.0%増）となっております。

純資産の部合計は479億円（同1.8%増）となりました。純資産の部中、その他有価証券評価差額

金は△9億円(同23.1%減)となっております。

ソルベンシー・マージン比率は828.0%(前事業年度末は836.8%)となりました。また、実質純資産は917億円(前事業年度末は871億円)となりました。

(参考) 契約業績の状況

■太陽生命保険株式会社

当第1四半期の個人保険、個人年金保険を合計した新契約高(転換による純増加を含みます)は、8,556億円(前年同期比70.5%増)となりました。

一方、個人保険、個人年金保険を合計した解約失効高は、2,972億円(同5.4%減)となりました。

以上の結果、当第1四半期末の個人保険、個人年金保険を合計した保有契約高は、17兆7,371億円(同3.1%増、前事業年度末比2.2%増)となりました。

■大同生命保険株式会社

当第1四半期の個人保険、個人年金保険を合計した新契約高(転換による純増加を含みます)は、8,003億円(前年同期比17.0%減)となりました。

一方、個人保険、個人年金保険を合計した解約失効高は、1兆484億円(同13.9%増)となりました。

以上の結果、当第1四半期末の個人保険、個人年金保険を合計した保有契約高は、38兆1,167億円(同4.0%減、前事業年度末比1.3%減)となりました。

■T&Dフィナンシャル生命保険株式会社

当第1四半期の個人保険、個人年金保険を合計した新契約高(転換は取り扱っておりません)は、482億円(前年同期比281.9%増)となりました。

一方、個人保険、個人年金保険を合計した解約失効高は、286億円(同22.3%減)となりました。

以上の結果、当第1四半期末の個人保険、個人年金保険を合計した保有契約高は、2兆1,619億円(同3.1%減、前事業年度末比2.0%増)となりました。

4. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の四半期純利益は108億円と第2四半期業績予想の60億円を上回っております。これは主に、有価証券売却益153億円(税引前のネット損益)を計上したことによるものです。今後、市場動向によってはキャピタル損益に大きな変動が発生する可能性もあることから、平成21年3月期決算短信(平成21年5月19日公表)で公表いたしました、下記業績予想の修正はいたしません。

(単位：億円)

	経常収益	経常利益	当期純利益
第2四半期連結累計期間	9,800 (22.8%減)	360 (4.7%増)	60 (62.3%増)
通期	20,100 (20.9%減)	780 (－)	180 (－)

(注) 括弧内は、通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率。

(参考) 生命保険会社3社(単体)の通期業績予想

(単位：億円)

	太陽生命	大同生命	T&Dファイナンシャル生命
経常収益	9,100 (18.2%減)	9,700 (22.4%減)	2,700 (5.4%減)
経常利益(△損失)	410 (－)	500 (－)	△140 (47.8%減)
うち基礎利益(△損失)	500 (11.1%増)	550 (－)	△40 (90.2%減)
当期純利益(△損失)	110 (－)	170 (－)	△100 (49.5%減)

(注) 括弧内は、対前期増減率。但し、「△損失」の場合の「減」は損失縮小を表しております。

5. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

6. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
現金及び預貯金	268,549	319,643
コールローン	289,600	397,500
買入金銭債権	347,014	443,212
金銭の信託	61,299	78,112
有価証券	8,605,033	8,218,502
貸付金	2,273,183	2,280,772
有形固定資産	306,330	308,604
無形固定資産	23,006	23,444
代理店貸	1,161	1,233
再保険貸	10,539	10,422
その他資産	190,267	191,792
繰延税金資産	216,183	227,992
貸倒引当金	△2,538	△2,671
資産の部合計	12,589,632	12,498,562

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
保険契約準備金	11,689,024	11,699,006
支払準備金	71,750	71,474
責任準備金	11,475,538	11,480,401
契約者配当準備金	141,735	147,129
代理店借	571	604
再保険借	326	450
短期社債	9,995	9,994
その他負債	269,385	306,659
役員賞与引当金	63	160
退職給付引当金	117,644	118,040
役員退職慰労引当金	4,297	4,123
特別法上の準備金	55,997	52,453
価格変動準備金	55,997	52,453
繰延税金負債	7	—
再評価に係る繰延税金負債	10,609	10,674
負債の部合計	12,157,924	12,202,169
純資産の部		
資本金	147,637	147,637
資本剰余金	135,145	135,145
利益剰余金	145,248	146,616
自己株式	△931	△927
株主資本合計	427,099	428,471
その他有価証券評価差額金	50,565	△86,246
繰延ヘッジ損益	299	348
土地再評価差額金	△47,919	△47,805
為替換算調整勘定	△64	△110
評価・換算差額等合計	2,880	△133,814
少数株主持分	1,727	1,736
純資産の部合計	431,707	296,393
負債及び純資産の部合計	12,589,632	12,498,562

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
経常収益	675,657	577,156
保険料等収入	394,842	429,930
資産運用収益	132,029	123,690
利息及び配当金等収入	62,523	50,972
売買目的有価証券運用益	13,443	2,128
有価証券売却益	32,672	20,397
その他運用収益	637	603
特別勘定資産運用益	22,753	49,589
その他経常収益	148,770	23,529
責任準備金戻入額	123,995	4,862
その他の経常収益	24,775	18,666
持分法による投資利益	14	6
経常費用	644,577	552,284
保険金等支払金	514,852	436,347
保険金	216,917	169,016
年金	52,472	55,182
給付金	83,698	77,912
解約返戻金	112,018	106,510
その他返戻金	49,746	27,726
責任準備金等繰入額	225	488
支払備金繰入額	—	275
契約者配当金積立利息繰入額	225	212
資産運用費用	54,083	41,540
支払利息	496	754
金銭の信託運用損	5,010	15,244
有価証券売却損	7,785	5,026
有価証券評価損	10,690	1,910
金融派生商品費用	23,964	13,006
為替差損	1,044	708
貸付金償却	9	18
賃貸用不動産等減価償却費	1,364	1,338
その他運用費用	3,717	3,532
事業費	52,475	51,835
その他経常費用	22,939	22,072
経常利益	31,079	24,872

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
特別利益	729	460
固定資産等処分益	647	343
貸倒引当金戻入額	48	95
償却債権取立益	32	8
その他特別利益	0	13
特別損失	1,979	3,751
固定資産等処分損	229	76
減損損失	—	130
価格変動準備金繰入額	1,748	3,543
その他特別損失	0	0
契約者配当準備金繰入額	10,507	4,793
税金等調整前四半期純利益	19,322	16,788
法人税及び住民税等	12,628	221
法人税等調整額	△2,409	5,683
法人税等合計	10,219	5,905
少数株主利益	3	45
四半期純利益	9,099	10,837

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	19,322	16,788
賃貸用不動産等減価償却費	1,364	1,338
減価償却費	3,248	3,053
減損損失	—	130
支払備金の増減額 (△は減少)	△3,175	275
責任準備金の増減額 (△は減少)	△123,995	△4,862
契約者配当準備金積立利息繰入額	225	212
契約者配当準備金繰入額 (△は戻入額)	10,507	4,793
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△50	△132
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△157	△97
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	216	△396
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△383	174
価格変動準備金の増減額 (△は減少)	1,748	3,543
利息及び配当金等収入	△62,523	△50,972
有価証券関係損益 (△は益)	△50,393	△65,177
支払利息	496	754
為替差損益 (△は益)	1,127	769
有形固定資産関係損益 (△は益)	△622	△337
持分法による投資損益 (△は益)	△14	△6
代理店貸の増減額 (△は増加)	97	71
再保険貸の増減額 (△は増加)	955	△116
その他資産 (除く投資活動関連、財務活動関連) の増減額 (△は増加)	△4,282	13,418
代理店借の増減額 (△は減少)	△79	△32
再保険借の増減額 (△は減少)	△139	△124
その他負債 (除く投資活動関連、財務活動関連) の増減額 (△は減少)	△1,011	△1,613
その他	32,184	31,231
小計	△175,334	△47,312
利息及び配当金等の受取額	65,291	51,111
利息の支払額	△839	△1,079
契約者配当金の支払額	△13,291	△10,393
その他	△883	△715
法人税等の支払額	△37,755	△3,774
営業活動によるキャッシュ・フロー	△162,812	△12,165

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
預貯金の純増減額(△は増加)	△630	200
買入金銭債権の取得による支出	△16,120	△997
買入金銭債権の売却・償還による収入	23,754	4,244
金銭の信託の増加による支出	△4,700	△2,500
金銭の信託の減少による収入	13,479	4,050
有価証券の取得による支出	△979,370	△849,376
有価証券の売却・償還による収入	1,114,257	972,587
貸付けによる支出	△120,967	△120,658
貸付金の回収による収入	128,846	128,976
その他	△6,779	△58,932
資産運用活動計	151,769	77,593
営業活動及び資産運用活動計		
	△11,043	65,428
有形固定資産の取得による支出	△454	△769
有形固定資産の売却による収入	1,343	536
投資活動によるキャッシュ・フロー	152,658	77,360
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期社債の発行による収入	1,981	0
借入れによる収入	3,000	1,800
借入金の返済による支出	△1,854	△2,022
リース債務の返済による支出	△2	△16
自己株式の取得による支出	△32	△6
自己株式の処分による収入	1	1
配当金の支払額	△13,201	△10,322
少数株主への配当金の支払額	△31	△58
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,140	△10,625
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,112	△147
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△21,407	54,422
現金及び現金同等物の期首残高	982,596	1,320,251
現金及び現金同等物の四半期末残高	961,189	1,374,674

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。